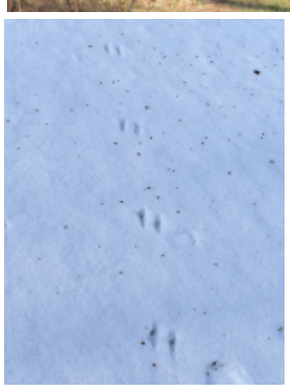
2019年12月号　　12月15日（日）発行

釧路湿原国立公園　　温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No.279



エゾシカのいる風景…

もう見飽きた、という人もいるかもしれませんが、広大な湿原に群れるエゾシカはやはり壮観です。今の時期、雄鹿は体格も大きく角が立派で、勇猛さが伝わってきます。そんなエゾシカたちもよくよく観察してみると、中にはレアキャラも・・・？

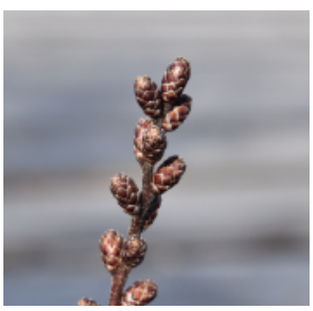
小鳥たちも餌探しに夢中。厳しい冬に向けて準備を進めています。

☆☆☆温根内ビジターセンター　探勝木道周辺の自然情報☆☆☆

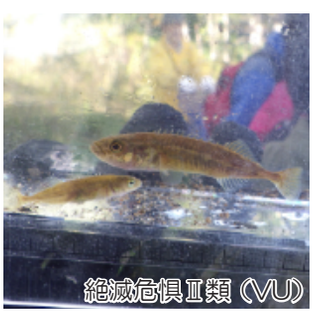
～温根内探勝木道周辺の自然～

【ホロムイツツジ（冬芽）】
ツツジ科　幌向躑躅
ミズゴケ湿原で春を待つ絶滅危惧種の植物。「ホロムイ」とは本種が発見され、現在はほぼ消失してしまった湿原の名称です。

【ヤチダモ（冬芽）】
モクセイ科　谷地梣
この時期の樹木は、冬芽が種を識別するポイントにもなります。本種は黒くて王冠のような冬芽（頂芽）が特徴です。



【ヤチヤナギ（冬芽）】
ヤマモモ科　谷地柳
ミズゴケ湿原などに生育する、木本植物の冬芽です。うろこ状に見えるのは「芽鱗」と呼ばれる冬芽を保護するための構造です。



【エゾトミヨ】
トゲウオ科　蝦夷富魚
鶴居軌道沿いの湧き水には様々な生物が生息しています。こちらはここでよく見かける魚類ですが、絶滅危惧種に指定されています。

【オオアシトガリネズミ】
トガリネズミ科　大足尖鼠
移動中に力尽きたのか、木道で時々コテンと死んでいる個体がいます。トガリネズミはネズミとは違って、モグラと同じ仲間です。

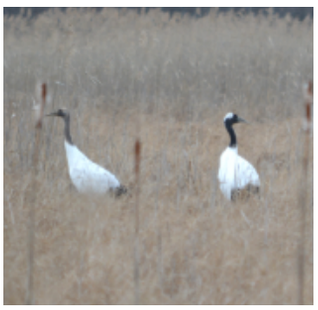
【エゾヤチネズミ】
ネズミ科　蝦夷谷地鼠
カサコソと音がしたかと思うと、枯葉の下から偶然姿が見えました。冬に向けて準備をしているようでした。来年は鼠年ですね。

○表紙の写真 上：エゾシカの群れ　中右：ゴジュウカラ　中左：発信機をつけたエゾシカ　下：ハシブトガラの足跡

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

上空には冬の使者とも呼ばれるオオワシやオジロワシの姿が時折確認されるようになり、冬の野鳥の観察シーズンがやって来ました。また、今シーズンはマヒワなどのアトリ科の野鳥も好調のようですので、根気よく探してみてください。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。

【マヒワ】　漂鳥
アトリ科　真鶸
今年は９月末頃からハンノキなどの実を食べる群れがよく確認できています。オスはより黄色味が強く、頭部が黒いのが特徴です。



【タンチョウ】　留鳥
ツル科　丹頂
湿原内を歩いていたり、飛行する親子が稀に目撃されます。ヒナはすっかり大きくなり、親との見分けがつきにくいほどです。

【ヒヨドリ】　留鳥
ヒヨドリ科　鵯
VC の周りなどでもよく見かけ、鳴声が大きいので存在はすぐわかります。聞いていると数パターンの鳴声があることがわかります。

【ハシブトガラ】　留鳥
シジュウカラ科　嘴太雀
木の上や地面で、昆虫や木の実などを食べています。個体数も多いので、行動がつぶさに観察できる野鳥です。

〇温根内探勝木道周辺で観察された鳥（11 月 15 日～ 12 月 14 日）和名は日本鳥類目録第７版の順
■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ノスリ■コゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマゲラ■ヤマゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■セグロセキレイ■アトリ■カワラヒワ■マヒワ■ベニヒワ■シメ■アオジ■クロジ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。
※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆　自然ふれあい行事が開催されました　☆☆☆☆

〇『初冬の植物を見に行こう』11 月 17 日　参加者：15 名
冬を控えた植物がどのように過ごしているかを観察するイベントを行いました。講師は釧路市立博物館の加藤学芸員にお願いしました。加藤氏からはこの日の観察ポイントを簡単に紹介していただいた後、鶴居軌道沿いではサワシバの実が子孫を広げるための工夫を観察したほか、湧水地に見られるオオバタネツケバナのロゼットなどを観察しました。また、季節外れにフキノトウが芽吹いており、驚く参加者も見られました。ヨシ・スゲ湿原ではタヌキモの殖芽の様子を詳しく観察したり、ちょうど種子を飛ばし始めたガマの果穂を触れることもできました。次の春を見越して戦略を練っている植物に感心する声が上がりました。

〇『クリスマスリースを作ろう』11 月 24 日　参加者：20 名
毎年恒例の人気行事、クリスマスリースを作る会を行いました。講師をお願いした甲斐氏からは、基本的に各自自由に作ってもらうこと、そして必要な時だけアドバイスを求めてくれればよい、というスタンスを述べられてから開始しました。まず参加者は、気に入ったリースの土台を選び、そこに思い思いの飾りつけを行っていきました。今年は、きらびやかなものからシックなもの、そして三次元的なものまで、幅広いデザインの力作が次々と創作されていきました。また、今回はお子さんの参加も多く、大人も唸るほどの斬新なリースも完成していました。それぞれの参加者が持ち時間をフルに使い、立派なリースを作ることができたようでした。

○「地形を見て歩く！湿原探索」12月1日　参加者：22名　（解説：VC指導員 藤原伸也）

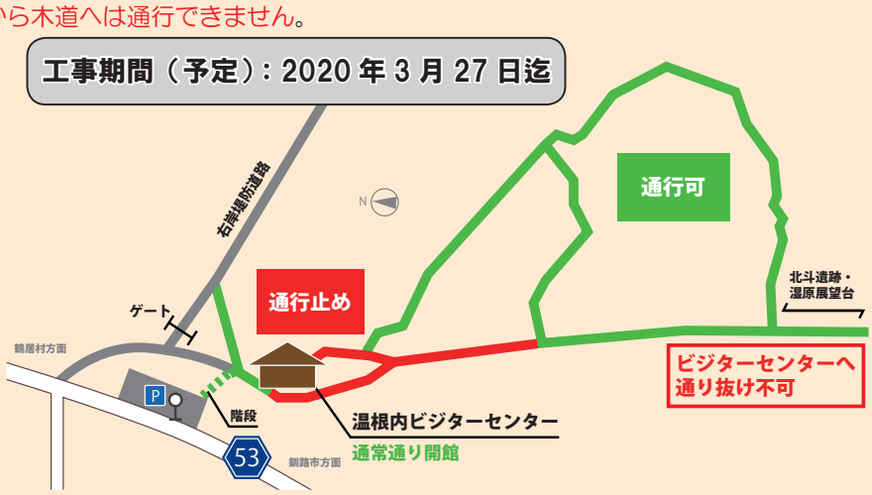
釧路湿原とその周辺の「地形」に着目して木道を散策する会を行いました。まずは館内で道東地方の地形の概要を説明してから、木道へ出発しました。この日はすっきりと遠くまで見通せる絶好の地形観察日和となり、近くのヤチボウズなどの湿原特有の微地形はもちろん、遠方の阿寒の峰々もはっきりと観察することができました。「釧路湿原はその昔、海だった。ではその前は？」「雌阿寒岳と雄阿寒岳、形が違うのはなぜ？」など、何気なく見聞きしていることを少し踏み込んで考えることを念頭に話を展開し、参加者の人たちの興味を引き付けていました。年々地形や地質について人々の関心が高まってきているのを解説者としても実感した会となりました。

☆☆☆☆　重要なお知らせ　木道の改修工事をしています　☆☆☆☆

現在、下記区間の老朽化した木道について、改修工事を行っております。このため、工事期間中の翌年3/27までは温根内ビジターセンター側から木道へは通行できません。

また、北斗遺跡、釧路市湿原展望台側からの木道の通行は可能ですが、温根内ビジターセンターへの通り抜けはできません。ルートをよくご確認ください。なお、温根内ビジターセンターは通常通り開館しております。

利用者の皆様には大変ご迷惑おかけいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。



☆☆☆☆イベントのご案内（1月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター　⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪湿原アニマルトラッキング

〔日時〕1月19日（日）10：00～12：00　〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料　〔場所〕温根内ビジターセンター

雪の上の足跡や、あちこちに残る痕跡から、湿原周辺の動物の行動と暮らしについて考えます。長靴と十分な防寒着をご用意ください。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪連凧を作って揚げよう

〔日時〕1月18日（土）10：00～12：00　〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕100円（材料費）　〔集合場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～今年もお世話になりました～

来年も温根内ビジターセンターをどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

＜年末年始休館のお知らせ＞

12月29日(日)～翌年1月3日(金)

上記期間中はトイレもご使用になれませんのでご注意ください。

月刊　温根内通信　№279

発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター

〒085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック

開館時間：9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）　入館無料